

地域の往診・訪問診療医を知ろう！ 報告

まつもとホームケアクリニック

シリーズ第10回
飾磨地域

開催日時:2025年10月7日(火)15:00~16:00 会場:姫路市総合福祉会館 第1会議室

この研修会は、主に介護職と医師の顔の見える関係づくりができ、介護職が気兼ねなく、必要な時に、適切な連携(情報共有や相談)ができるようになることを目的として、シリーズで開催しています。今回は、飾磨区三宅のまつもとホームケアクリニック 院長 松本 直久 医師に、自院の特徴や在宅医療についてお話いただき、多職種 46 名の方々にご参加いただきました。



・自己紹介

サッカーが大好きで高校ではキャプテンでした。
病院の麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和ケア等、各科での多様な症例経験が、現在の診療に繋がっています

・クリニックについて

2023年7月に開業。標榜科は、ペインクリニック
内科、緩和ケア内科、麻酔科

・開業してからの2年を振り返って

介護に関しては分からないことが多く、他職種の皆さんに色々教えてもらいました。
在宅療養では、医療だけでなく、生活支援(ADL低下への環境・サービスの調整など)も重要で、本人・家族の精神的なサポートやACPも含めて、改めて多職種での連携が大切だと考えています。
(現在の対応患者数:居宅と施設を合わせて200人余り)

・往診・訪問診療について

特に条件はないので、まずはご相談ください。基本的な連絡方法は、MCS・メール・公式LINEが助かります。訪問診療を行ううえで、“患者さん・ご家族の満足度” “病状・方針・選択肢の分かりやすい説明” “可能な限り在宅療養を続けられる全身管理” を大切にしています。

…などなど、お話しくださいました！



《アンケートより 一部抜粋》

- ・先生のお人柄や在宅医療への思い、自宅でする処置等を知ることができた。質疑応答が具体的であった。
- ・在宅ケアでのケアマネの立場を理解しておられ、遠慮せずに、本人、家族のために、代弁者として歩み寄ってみたいと思えた。
- ・訪問診療が可能なエリアの確認ができ、また、末期癌患者以外でも診てもらえることが分かった。
- ・何でも言ってくださいとのことで、MCSでの相談や報告が躊躇なくできると思いました。
- ・ACPについて、早期からケアマネジャーが介入する事で、何かイベントが起きた時に、事前の知識があると、医師からの説明の際に理解が深まりやすいことが分かりました。
- ・先生の人となりが分かり、安心して相談できそうです。やはり、顔の分かる関係は大事だなと改めて思いました。

「地域の往診・訪問診療医を知ろう！」は、令和8年度も継続して開催します！ 決定次第ご案内いたします